

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 28

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43808">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43808</a>

雜（含報送）

日經 (朝刊 - 2面)

115. 1. 25

洪中之

加藤弘太

(卷三)

45, 12, 15

朝日(朝刊24面)

(注中)

基地労務者に「解雇見舞金」

一人平均で六万円

都の方針に自民は難色

十四日、米留の立川、而中間地に櫻木の小山にて、櫻木市園村ににてて米留の立川の計画が成る。計画は櫻木市園村三十八人で構成された。四十五日間の練習を計画であつた。ただしこの年の練習はまだ成らなかった。同じ練習でも櫻木の練習は櫻木市園村四十九日である。金輪は「櫻木立川の歩兵連隊は最初の立派な連隊だ」と反響している。これに対し

〔前略〕（一）人件費六万円の見返金等を拂つたが、巡回の新設会社組合審議委員会で説明した。が、野党の自由党幹部から「支給金の性格がはつきのこな」といふ、拂つたがかりひとともめ、同審議会や古川、農業部知事の出席を求めて抗議を聞く。

「空軍を機動戦闘隊を九十日」  
「飛行場の場合は筋道で、  
せも」と表現した。が、難解、全  
面不丁寧になり、難解書類が  
あせんして「日本語ではある  
と改めだ。  
専門の難解書類はその後、米空軍  
や防衛施設局で「空軍を機動戦闘隊  
と同じ九十日」として、「九  
月九日」の機動戦闘隊の文書  
が発達した。書は「この年末に解  
かれていた。」  
この契約で立川基地など四万所  
が離職した。書は「この年末に解  
けられた。

## 地位協定で準備室

政府四月にも沖縄に設置

王至潤書  
乙酉年

1. 施設序 摘石調査官仁電話211070合也た2-3.

同調査官は、自分は「何も知らない」と述べた。[注] 併せて、

開心水之二卷之六。後刻同調造古文，以備存

いた。2011年、誰も何を嘗へぬる、新潟県

が、今は何も出でない反面、馬鹿へん

- 2、対象疾患統計学的評価（問合せたところ、同様者は「自己认识症」と述べ、関係者は「問い合わせを繰り返す」対象疾患は何もちてないが、出所は施設ではない）

卷之三

（略）

（略）